

令和6年度 大阪府立中央図書館主催 読書週間記念講演会

仏教東漸の道を訪ねて

— ガンダーラから中央アジア・中国・日本への伝来ルートを考える —



ガンダーラからパミール高原を越えて
新疆に向かう途中にある白沙湖



天山山脈南麓の亀茲国のアイ石窟
に描かれた文殊師利菩薩



明日香村にある、蘇我氏が建立した日本最初の
本格的寺院の飛鳥寺

撮影 山田勝久

東インドに発生した仏教は、アショカ大王の時代に入るとインド各地に流布されました。南のセイロン島や西のガンダーラ地方にも伝えられ、パキスタン、アフガニスタン、ウズベキスタン等の民衆の支持を得て多くの仏塔が建てられ、今も残存しています。また、約450年間、口伝であった釈尊の教えを經典にし、仏像も誕生させました。今回の講演会では、新疆ウイグル自治区のタクラマカン砂漠の周辺のオアシスに、どのような道程を経て仏教が伝播してきたのかを編年的に考察します。併せて中国、日本への伝来ルートも学習します。

(山田勝久)



講師 **山田 勝久** さん

大阪教育大学名誉教授
橿原市観光大使

10月31日(木曜日) 14時から15時30分まで

定員 70名

*参加申し込みは、インターネット・FAXで

10月9日(水)から申込開始

**受講
無料**

会場 大阪府立中央図書館 2階多目的室

(大阪府東大阪市荒本北1-2-1)

【講師紹介】

1943年 愛知県生まれ。北海道教育大学教授。大阪教育大学教授・学長補佐・附属池田中学・高校併任校長。私立大学副学長・理事・教授・客員教授を歴任。現在は大阪教育大学名誉教授。二松学舎大学生涯学習講座講師。NHK文化センター京都、西宮教室「シルクロード」講師。日本人として初めて楼蘭王国の陵墓の壁画を調査。その他、パルミラやサマルカンドやネパールの遺跡を踏査。著書に『唐代散文選』、『唐代文学の研究』、『唐詩の光彩』、『シルクロードの光彩』、『シルクロード悠久の天地』(笠間書院)、『パルミラの光彩』(雄山閣)など多数。西域を中心にシルクロード踏査67回、26カ国。

※ 申込方法は裏面をご覧ください。